

研究区分	教員特別研究推進 国際共同研究・国際交流の推進
------	-------------------------

研究テーマ	タイスラナリー工科大学との大学間協定を基盤とした研究・学生交流の活性化				
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・講師	氏名	南 彰
	研究分担者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	竹内 英之
		所属・職名	薬学部・准教授	氏名	高橋 忠伸
		所属・職名	薬学部・助教	氏名	紅林 佑希
		所属・職名	Center of Excellence in Microbial Technology for Agricultural Industry, Suranaree University of Technology (Thailand)/Director	氏名	Dr.Sureelak Rodtong
		所属・職名	Suranaree University of Technology (Thailand) /Associate Professor	氏名	Dr. Jirawat Yongsawatdigul
		所属・職名	National Cancer Institute (Thailand)/Principal Investigator	氏名	Dr.Jantana Yahuafai
	発表者	所属・職名	薬学部・講師	氏名	南 彰

講演題目	タイスラナリー工科大学との大学間協定を基盤とした研究・学生交流の活性化
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>申請者らはこれまでに、タイスラナリー工科大学微生物技術センターの Sureelak Rodtong センター長と共同で、タイ産機能性食品の共同開発や機能性食品開発に関するシンポジウムを開催してきた。これらの共同研究や研究連携の実績を基盤に、同大学との大学間協定締結に至っている（2020年11月16日締結）。現在、学士号取得を目的としてスラナリー工科大学の学生を本学博士課程へ誘致する計画が進行している。そこで令和5年度においては、大学間協定に基づく研究交流を活性化させる目的で、東南アジア産の食品を活用した機能性食品の開発を展開した。</p> <p>東南アジアでは、女性が閉経後の症状を緩和するために伝統的に若いココナツ（<i>Cocos nucifera</i> L.）ジュース（YCJ）を摂取しており、YCJがエストロゲン特性を有することが示唆されている。しかしながら、閉経後の動物モデルを用いて、エストロゲン欠乏に関連する病態に対するYCJの効果を調べた研究は限られている。本研究では、卵巣摘出（Ovx）ラットの記憶障害と抑うつ様行動に対するYCJ補給の効果を調べた。10週齢の雌性ラットを偽手術（Sham）または両側卵巣摘出術にかけた。Ovx+YCJ群のラットには、5倍濃縮YCJを15mL/kg体重で経口投与した。12週間後、海馬依存性空間記憶および抑うつ様行動に対するYCJの影響を、それぞれモリス水迷路および強制水泳試験を用いて評価した。Ovxラットは有意な記憶障害と抑うつ様行動を示したが、Ovx+YCJ群のラットの記憶はSham群のラットのそれと同等であった。しかし、YCJの投与は抑うつ様行動を改善しなかった。これらの結果は、YCJの摂取が閉経後の女性における記憶障害の治療に有用であることを示している。</p>